

新しい学校の学びの工夫

- 義務教育学校（9年間の学び）で、「自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓していく力を育む」教育
- 「探究的に学ぶ」「ごちゃまぜに学ぶ」「オール中川でグローバルに学ぶ」を重視
- ふるさと中川学（仮称） 地域に根ざした教育
 - ワクワクして学び、リアルに体験する
- 学校と地域が一緒になって子ども達の学習や生活を支援
- 美しい村・中川村を再発見し、自ら楽しみ、次世代につなぐ「みんなの学校」

新しい学校の校舎の工夫

- オープンな教室でごちゃまぜに学びやすくする
 - ・必要に応じてひらいたりとじたりできる間仕切り(パーテーション)を備えたオープンな教室
 - ・オープンな教室に続く広い廊下(廊下というよりは広場的な空間で異学年でもかかわれる)
 - ・教室の中だけではない色々な場所で授業ができる
 - ・子どもたちにオープンな資料室、音楽室、理科室、職員室 等
- 校内に子どもそれぞれの居場所がある
 - ・1人でも静かに過ごせるようなスペース、放課後だけでなくすごせる場所
 - ・特別支援学級の教室に個のスペース
 - ・玄関、入り口を別に作る(いろいろな人の目を気にせず学校に来られるように)
- 地域の方が来たいと思える施設をつくる
 - ・カフェテリア、食堂、売店、図書館など誰でも入り利用できる施設をそなえる
 - ・大ホール(一般も使えるコンサートホール)
 - ・地域に開かれたスペース→目的を限定しないフリースペース
 - ・ピアノを置いたミニコンサートが出来る様なスペース(円形)、会議にも使える
 - ・日曜日とかに給食が食べられるようなカフェ…
 - ・公民館、地域活動でも使える。
 - ・文化サロンみたいな学生のクラブと一緒にできる
 - ・文化センターと学校施設を一体化で考える
- 地域の方が来なければならない機能をつける
 - ・みなかた診療所を校内に移設(むりですね…)、薬局(マツキヨなど)を併設
 - ・「田切の里」みたいなのを併設、JA直販＋ファミマも併設
 - ・公園やミニ役場(住民票の発行等)といった村民が行く理由になる施設、行政(公民館)機能
- 校舎や備品の工夫
 - ・全体に窓が多く明るいこと、外が見えること

- ・ステキな中庭(教室の窓から見える)
- ・障害のある人や高齢者等向けのエレベーター
- ・プールは不要(水泳指導は業者に委託する)
- ・体育館2棟(又は2階建て)

空調あり(猛暑対応及び避難所としても対応するため)

バスケットボールコートは最低(ステージ付)、講堂的なスペース(ステージ付)、さらに地下にピロティ(高森中参考)

理科室は3室

※ピロティ:柱だけで支えた壁のない空間

教科専用教室

中川村の「木」を使った机づくりなどに、木を切る体験から関わる

ギャラリー

全てのトイレを男女別ではないものに

子どもたちも一緒に校舎を考える、つくる

一足制の導入(上履きはなし)

基本的な遊具は欲しい+何でもできるスペース

生物を飼育+学習(酪農とか)

森 生態系をよびこむ 食につなげる

災害時の避難場所になっても学校生活がストップしないづくり

□学校以外の施設の設置

児童クラブ(少しは離れた所につくる)

高校生の居場所

グラント境の森とつなげる

歴史民俗資料館の出張所

□ICT の充実

□セキュリティ面の確保

例えば、教員・地域の方はユニフォームを着る

□その他、私が考える、こんな学びがいい!、こんな校舎がいい!